

日本大学理工学部は、1945年に設立された伝統ある韓国・韓国海洋大学校における海洋科学技術大学及び工科大学との学術文化交流提携の下、大学院理工学研究科博士前期課程修了時に双方の大学から修士の学位を取得することを可能とする「ダブル・ディグリー・プログラム」の実施に関して合意いたしました。

現在、アジア圏内においても、学術文化交流覚書等に基づいた単位互換、学位の相互認証というようなグローバル化が大きく進んでいます。日本大学大学院理工学研究科は、本学及び長年の提携関係にある韓国海洋大学校大学院双方の学生に対し、各々異なる文化圏で専門教育を受ける機会を与え、日本大学及び韓国海洋大学校の2つの学位を3か年で取得することを可能とし、国際社会でのキャリア展開を先導するグローバルな技術者・研究者を育成・輩出することを目的として本プログラムを実施し、下記により募集することといたします。

## 記

### 1 派遣先

韓国・韓国海洋大学校海洋科学技術大学大学院（修士課程）

### 2 派遣人数

2名以内

### 3 留学期間

原則2年間（申請の翌年度9月から2年間）

### 4 応募資格

- ① 留学期間開始時に、本学大学院理工学研究科海洋建築工学専攻博士前期課程の1年次に在学することが決定している者及び2年次に在学する者
- ② 韓国海洋大学校大学院における2年間の英語・韓国語による授業及び論文指導を含む留學生活に適応可能な者
- ③ 所属する専攻主任及び指導教員の推薦を得られる者
- ④ 研究課題が韓国海洋大学校大学院で受入れ可能なものであること（指導教員を通じて申込前に韓国海洋大学校大学院の指導予定教員と研究内容の打合せを済ませておくこと）

### 5 留學中の主な経費

- ① 留學先大学の授業料免除
- ② 成田空港から釜山国際空港までの往復航空券を支給
- ③ その他個人負担となる主な経費  
・留學生在籍料 ・海外旅行保険 ・留學先での学生寮、教材、図書費等の費用

### 6 選考方法

書類選考及び面接試験等（10月中旬を予定）を実施します。  
詳細は応募者へ連絡します。

### 7 出願書類

- ① 願書
- ② 成績証明書
- ③ 専攻主任及び指導教員連名の推薦書
- ④ 履歴書
- ⑤ 志望理由書

\* 願書は研究事務課ホームページ（<http://www.kenjm.cst.nihon-u.ac.jp>）よりダウンロード可。

### 8 出願期間及び提出先

出願期日：令和8年9月18日（金）

提出先：研究事務課（駿河台校舎10号館3階）

### 9 備考

- ① 本プログラムにより韓国海洋大学校大学院において修得した単位は修了に必要な単位として認定することができます。ただし、認定可能な単位は入学前既修得単位等によるものと合わせて10単位を超えることはできません。
- ② 本プログラム適用の者が、留學前に日本大学大学院理工学研究科において修得した単位は、韓国海洋大学校大学院における学位取得のための単位として認められることがあります。
- ③ 本プログラムに参加した学生が、韓国海洋大学校大学院の修了要件を満たさなかった場合にあって、日本大学大学院理工学研究科の修了要件を満たすことにより、日本大学の修士の学位を取得することができます。
- ④ 国際情勢に鑑み、留學期間中の安全確保が難しいと判断された場合は、プログラム実施を中止することがあります。
- ⑤ TOEFL等の一定レベル程度【iBT61を目安】のスコア提出が必要です。